

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まっくびーカレッジ名楽町校		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 3月 19日		2026年 3月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のプログラムにおいて基本的には集団活動を基本とし、多種多様なプログラムを開催するようにしている。 楽しく療育につなげていけるようにミーティングで共有を行い、支援を行っている。	全体ミーティングで様々な意見を交えながらプログラム内容を決めている。日々の支援の記録や様子から常に必要な支援を導き出せるようにしている。 プログラムによっては個別の療育を取り入れることで、個々合ったアプローチができるようにしている。	更に職員間の連携能力を高めるため月1回の研修会と全体ミーティングを行い、支援能力の向上に努める。
2	外出プログラムに力を入れており、土曜日や祝日、長期休暇などは様々なお出かけ先で社会活動を行っている。	お出かけ先のジャンルを多種多様にする事で興味の幅を広げ、人との関わりを増やす機会を作ることで家庭での外出もスムーズに行えるように支援を進めている。	今後もニーズに応えていけるように、保護者様と密に情報交換を行い、適切な支援プログラムになるように進めていく。
3	法人全体で児童発達支援から始まり放課後等デイサービス、A型、B型、グループホームが存在し、卒業後も安心できる環境が整っている。	年齢の必要に応じて、福祉サービスを紹介したり、よりよい環境で療育を行えるように進めている。	今後も必要に応じて保護者様と情報交換を密に行い、より良い環境を提供できるように整備を進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への報連相が弱い。	日々のミーティングで個々の支援について議論をし、現場に反映をしているが、保護者様への報連相が弱く普段の様子や支援の内容を伝えられていない部分が課題だと感じている。	保護者会・情報交換会・相談会を開催し報連相の強化を図っていく。
2	プログラムの内容を写真や口頭で伝えはしているが伝えきれていない部分がある。	保護者参加型の活動がない事が課題だと感じている。	保護者会・情報交換会・相談会・参観日などを開催し、保護者様との交流を増やしていく。。